

令和4年度事業計画

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

1. 啓発広報事業

- (1) 消防設備等の適正な設置及び維持管理についての啓発普及
新聞広告等による啓発・印刷物による啓発
- (2) 火災予防に関する啓発
火災予防運動・その他(県・消防局主催による催事等)に協力する。
防災フェスタ
消火競技大会(東部) 10月頃
- (3) ホームページを随時更新し、会員及び一般に広く新情報の提供に努める。
情報発信の方法としてFacebook 協会ページを利用し随時発信、ホームページと連携。

2. 講習事業

消防設備士講習

鳥取県が実施する消防設備士講習の事務を受託して行う。

10月18日(消火) 10月19日(避難) 10月20日(警報) 鳥取県立倉吉体育文化会館

3. 出版物頒布事業

出版物、防火マーク等の斡旋

4. 点検報告制度の推進事業

(1) 消防用設備等の設置及び維持管理に関する調査研究並びに指導

ア 会員研修会の実施

イ 点検を実施する者に対する講習会の実施

8月8日米子コンベンションセンター 8月9日鳥取県立福祉人材研修センター

ウ 消防関係機関との協議会の開催 5年1月 倉吉市

(2) 消防用設備等の保守契約に関する指導、斡旋

ア 保守契約に関する指導及び斡旋

良質保守業務の提供による保守契約の推進

イ 消防用設備等点検済表示制度の推進

① 推進要綱に基づく点検済表示制度を実施し、点検実施責任者を明確にして点検済票を貼付することを推進する。

② 「消防用設備等点検済表示管理委員会」に諮り、適正な点検済表示制度を推進する。

③ 各自治体の長に対し、消防用設備等点検済表示制度の活用について理解を求めるための申し入れをする。

④ 点検推進指導員を配置し、点検済表示制度の円滑な運用を確認する。

ウ 消防用設備点検器具等の貸出

連結送水管耐圧試験機の貸出

(3) 消防用設備等の設置及び維持管理の適正化推進

一般財団法人日本消防設備安全センターに維持会員として加入し、各都道府県協会相互の情報交換・協調関係を図る。

5. 表彰

消防設備等の保守業務、協会役員として永年にわたり尽力し、その功績が特に顕著であったものに対して行う。

6. 会議

協会の円滑な運営と事業の適正な推進に寄与するため会議を開催する。

7. その他

新型コロナウイルスに関する対策のため、事業が中止又は延期となる場合もあります。